

ボランティア出前講座申込書 / 貸出用具予約書

事前連絡のうえ、FAX送付願います。
FAX 5698-2512

受付	年 月 日	受付者
----	-------	-----

	学校名		電話	
	校長名	(印)	FAX	
依頼者	住所	葛飾区	(依頼者と連絡が取れる時間帯)	
	名前			
講座の内容	校長・副校長・主幹・教諭・保護者		電話	(保護者の場合のみ記入)
	日時	月 日 () 時間 : (校時) ~ : (校時)		
講座の内容	生徒	学年 人 (クラス)		
	会場	(体育館・会議室等、決まっていればご記入ください)		
講座の内容	講座の目的	(学習のねらい・授業計画表等の添付)		
	内容	【事前学習】 【本講座】 		
貸出用具	(アイマスク・白杖、点字板、車椅子、シニアセット等を記入)		貸出日～返却日を記入(講座当日をはさんで貸出可能です)	
		期間	月 日 ~ 月 日	
		期間	月 日 ~ 月 日	
その他				

ボランティア出前講座の進め方について

講座内容	調整事項	用具貸出 〔一週間程度の貸出が可能〕
<p>福祉（ノーマライゼーション等）ボランティア（活動への心構え）についての基本的な</p> <p>VC職員が、福祉やボランティアの考え方、必要性、生徒にできるボランティア活動の内容等について講義する。</p> <p>質問・感想など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・電話等での事前打合せ。 ・パワーポイントを使用する場合は、スクリーン等が必要。 	
<p>聴覚障害について（手話）</p> <p>聴覚障害の方のお話</p> <p>簡単な手話体験</p> <p>その他、手話コーラスなど</p> <p>質問・感想など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は手話のボランティアグループで、先生との事前打合せを行う場合あり。 ・聴覚障害の方のお話...小学校で行う場合は、事前に少しでも手話や障害について学習してもらう必要がある。 ・手話体験や、手話コーラスは希望により行うので、申込の段階でVCに相談する。 ・その他、筆談やジェスチャーでのコミュニケーションを試す、またはテレビを消音にして観せる、などのメニューもある。 	
<p>視覚障害について</p> <p>視覚障害の方のお話</p> <p>ガイドヘルパーの活動について</p> <p>ガイドヘルプの方法説明</p> <p>2人1組になり、視覚障害役とガイドヘルパー役を体験する。</p> <p>質問・感想など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は、視覚障害の方とガイドヘルパー。ガイドヘルパーのみで体験だけをすることも可能。 ・アイマスク体験では、コースが必要。複雑なものは必要ないが、時間などの関係で、VCと調整する必要有り。 ・眼病予防のため、生徒には自分のハンカチを持たせる。 	<p>アイマスク最大30個 白杖最大20本</p> <p>（自転車等で運搬可能） （ガイドの目の届く範囲で、交代制で行うので、人数分用意する必要はない）</p>
<p>盲導犬について</p> <p>盲導犬育成支援活動について</p> <p>活動の様子ビデオ上映など</p> <p>盲導犬（もしくはリタイア犬）との交流...調整により不可能なこともあり</p> <p>質問・感想など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は、盲導犬育成支援活動をしている団体の方。 ・犬同伴の場合は、車で来校。犬が入室OKな会場である必要がある。 ・内容によってはモニター、ビデオデッキの準備が必要。 	
<p>点訳体験</p> <p>点訳活動についてのお話</p> <p>点字を書く（打つ）体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は、ボランティアグループ。団体数が少ないため、日程調整がつかない場合もある。 ・複数人で教えてくれるが、生徒一人ひとりの手元を見ながらなので、かなり時間がかかる。 ・点字板の数に限りがあるので、事前に相談の必要有り。 	<p>点字板 最大60セット</p> <p>点字用紙（消耗品）が必要。</p>
<p>車いす乗車体験</p> <p>身体障害の方のお話</p> <p>車いす使用方法についての説明</p> <p>2人1組で、乗る役・介助役を体験する。コースは体育館内または校庭で、踏み台等使用して、段差・坂道体験など。</p> <p>質問・感想など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前打合せは、新規校についてはVC職員が伺う。 ・コース設定などについては、VC職員と調整をする。 	<p>車いす 最大6台</p> <p>（車での運搬が必要）</p>

講座内容	調整事項	用具貸出 〔一週間程度の貸出が可能〕
高齢者疑似体験 用具の装着についての説明 2人1組で、高齢者役・介助役を体験 質問・感想など	・着脱などかなり時間がかかるので、一部生徒の体験にする、または一部部品での体験など工夫が必要。 ・コース（障害物を設定）が必要。	高齢者疑似体験 S・M・L各2体ずつ （車での運搬が必要）
ボランティアセンター職員の当日の同行について		
A. 同行する ・初めて実施する学校の場合。 ・内容が複数で、講師も複数依頼した場合。 ・職員が講師として出向く（ボランティアについての話など）場合。 他		
B. 同行しない場合があります ・他の学校授業、VCのイベント等との調整がつかない場合。 ・過去に出前講座を利用され、経験のある学校の場合。		
注意事項 ・いずれの体験の場合も、何人が同時進行するため、先生にも補助にご協力いただく。 ・体験時にけが等の事故が起きないように、真剣に取り組むように事前指導が必要。 ・事前学習をしておく、より理解が深まる。		

注意事項

授業の目的、ねらいをはっきりと定めてください。

ゲストティーチャーと先生の役割を、はっきりと定めてください。

本時では、事前学習として、本活動の意義を十分に理解することが必要です。

また、活動終了後、自分自身を振り返る（事後学習）ことが重要ですので、感想文等を活用してください。

なお、感想文等につきましては、可能な限りセンターへ提出してください。

継続性

1回だけの講座では効果が薄いので、学年単位で継続性を持たせるようにして下さい。

（例）

4年生...車いす体験（校内）。

5年生...4年生時の体験をもとに、街の中に出て実体験。

6年生...自分の住んでいる地域のバリアフリーマップを作る。

ボランティアセンターは、第1・第3土曜日は開所しております。
 児童・生徒さんの車椅子体験も、小グループであれば可能です。
 事前にご相談ください。